

令和7年7月11日

墨田区における火災等の発生状況



本所消防署・向島消防署

目 次

- 1 火災発生状況（令和7年中）・・・・・・・・ P.1
 - （1）火災件数・焼損床面積・死者数・傷者数
 - （2）住宅火災による高齢者の死者発生状況
 - （3）住宅火災における出火原因別の死者発生状況
- 2 救急件数（令和7年中）・・・・・・・・ P.3
 - （1）救急出場件数及び搬送人員
 - （2）救急事故種別件数
 - （3）程度別搬送人員
- 3 熱中症予防対策・・・・・・・・ P.4
- 4 住宅への消火器等の設置促進・・・・・・・・ P.5
- 5 救急車の適時・適切な利用にご協力を・・ P.6

1 火災発生状況（令和7年中）

（令和7年6月23日現在 速報値）

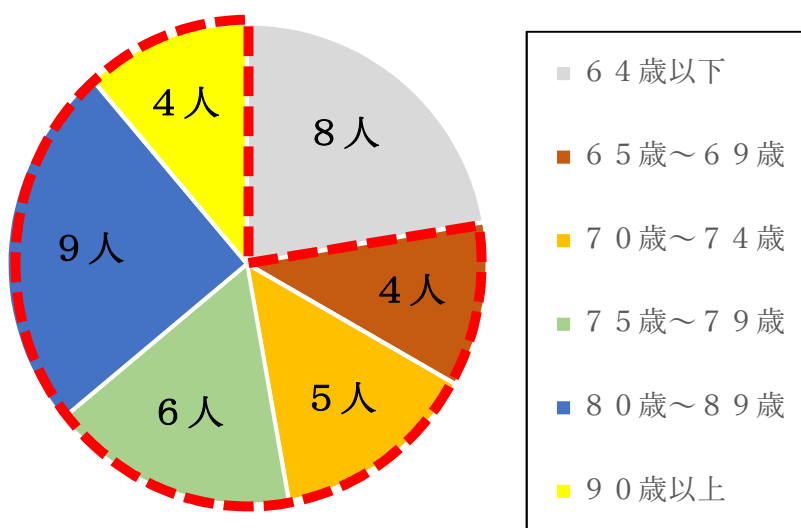
（1） 火災件数・焼損床面積・死者数・傷者数

※（ ）は前年比を示します

	火災件数(件)	焼損床面積(m ²)	傷者(人)	死者(人)
東京消防庁管内	2,519 (+348)	10,609 (-6,341)	455 (+51)	44 (-4)
墨田区合計	43 (±0)	192 (-433)	8 (-1)	0 (-2)
本所消防署管内	23 (-4)	54 (+34)	1 (-2)	0 (-1)
向島消防署管内	20 (+4)	138 (-467)	7 (+1)	0 (-1)

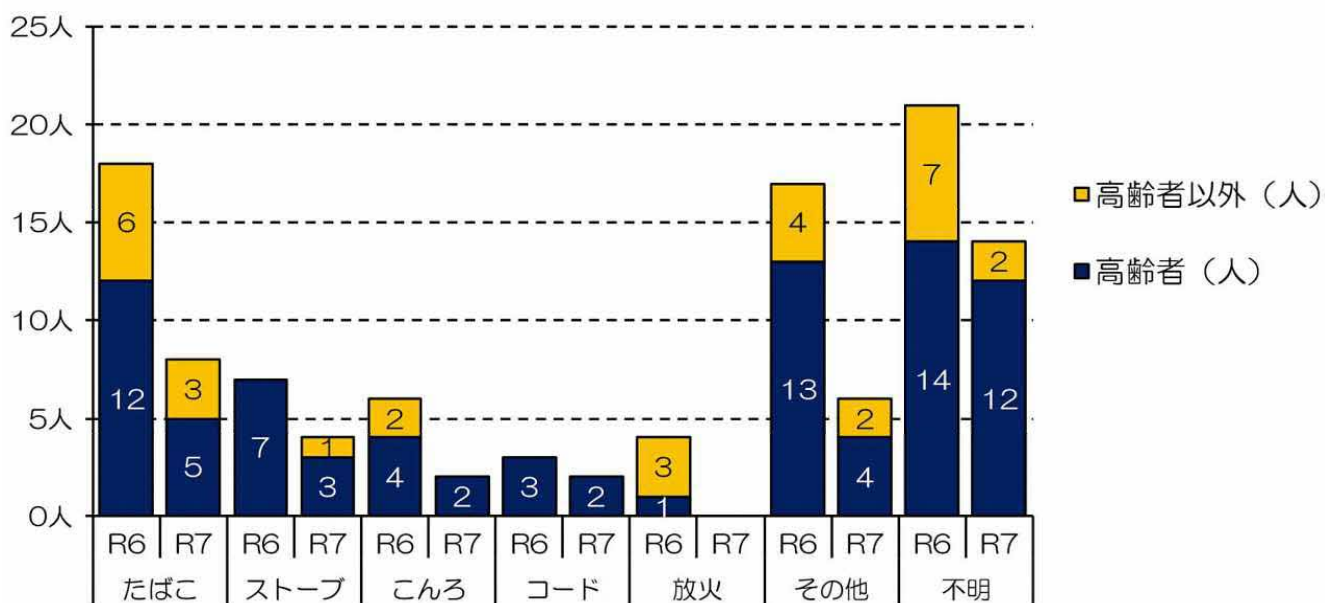
（2） 住宅火災による高齢者の死者発生状況

東京消防庁管内



住宅火災の死者は36人
そのうち高齢者が28人（77.8%）

(3) 住宅火災における出火原因別の死者発生状況



出火原因では、1位「たばこ」、2位「ストーブ」、3位「こんろ」・「コード」の順となっています。

令和7年中に墨田区内で、住宅火災で亡くなられた方はおりません。



2 救急件数（令和7年中）

（令和7年6月23日現在 速報値）

（1） 救急出場件数及び搬送人員

※（ ）は前年比を示します

	出場件数	搬送人員
東京消防庁管内	431,495 件 （-473）	369,578 人 （+151）
墨田区内	8,926 件 （-472）	7,778 人 （-444）

（2） 救急事故種別件数

	急病	一般負傷	交通事故	その他
東京消防庁管内	295,071件	76,611件	18,766件	41,047件
墨田区合計	6,130件	1,563件	397件	836件

（3） 程度別搬送人員

	軽症	中等症	重症以上
墨田区合計	3,937人	3,220人	621人

救急搬送された方の半数以上が軽症となっています。
重症以上は、8%程度です

重症以上	死亡：	初診時に死亡が確認されたもの
	重篤：	生命の危険が切迫しているもの
	重症：	生命の危険が強いと認められるもの
	中等症：	生命の危険はないが入院を要するもの
	軽症：	軽易で入院を要しないもの

3 熱中症予防対策

令和6年は過去最多となる7,993名（※）の方が熱中症で救急搬送されました。**熱中症から命を守る行動**をお願いします。

※東京消防管内、令和6年6月から9月末までの4か月間

屋外では・・・

- ▶ 帽子や日傘を使いましょう。
- ▶ 日陰を選んで歩きましょう。
- ▶ こまめに休憩しましょう。



屋内では・・・

- ▶ 扇風機やエアコンを使用しましょう。
- ▶ ブラインドやすだれで直射日光を遮りましょう。

対策2 水分補給は計画的、かつ、こまめにする。

- ▶ のどが渇く前に、こまめに水分補給をしましょう。
- 特に高齢者は注意しましょう。
- ▶ 起床時、入浴前後にも水分を補給しましょう。
 - ▶ 大量の汗をかいた時は塩分も補給しましょう。



対策3 運動時などは計画的な休憩をする。

- ▶ スポーツを行う人はもちろん、指導者等も熱中症について理解しましょう。
- ▶ 大量の発汗があった場合は、スポーツドリンクなどを摂取しましょう。
- ▶ 応援や観戦などでも熱中症が発生しています。水分をしっかり補給し、注意を怠らないようにしましょう。



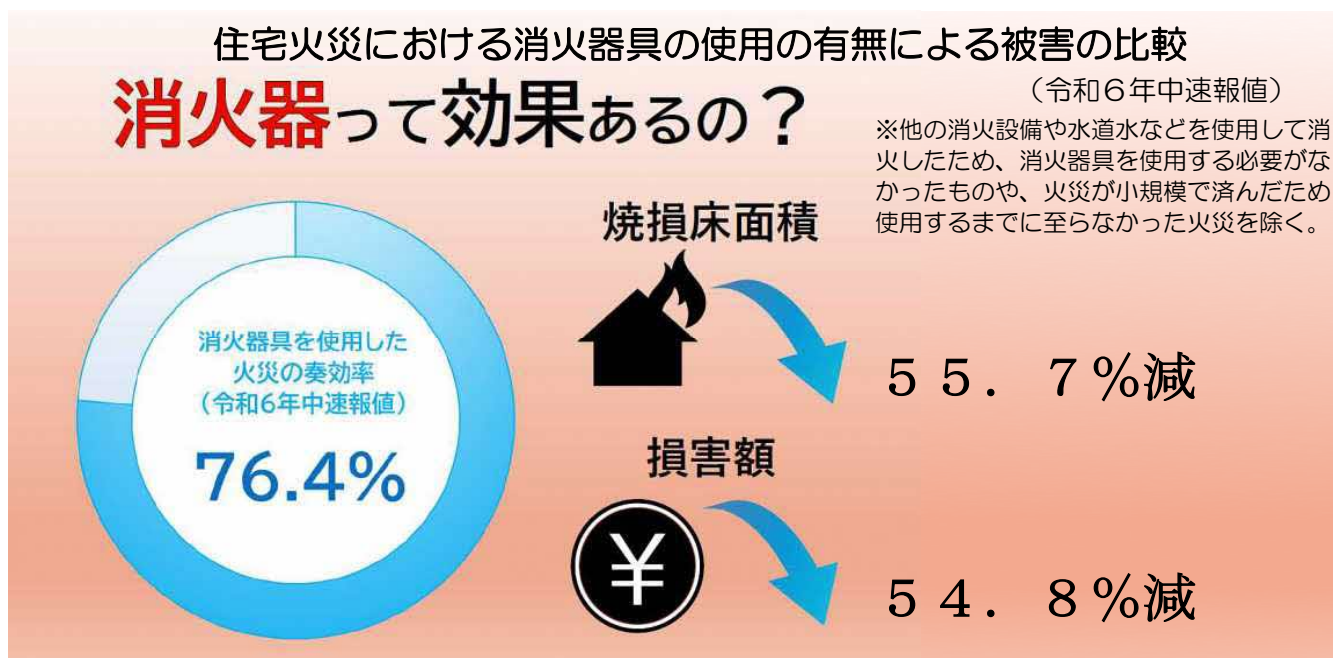
熱中症のポイント

- ▶ 地面に近いほど輻射熱は高くなります。
- ▶ 子供は大人の想像以上に輻射熱等の影響を受けていると考えましょう。
- ▶ 子供の体調変化に注意しましょう。



4 住宅への消火器等の設置促進

東京消防庁管内で実際に起きた建物火災のデータによると、初期消火で消火器具を使用した場合、7割以上で被害軽減に効果がありました。



住宅へ消火器等が設置されることは、平時のみならず首都直下地震等における初期消火能力の向上にもつながります。ご家庭に消火器を備えましょう。

持っていますか？
マイ消火器

普及啓発PR動画

東京消防庁
Tokyo Fire Department

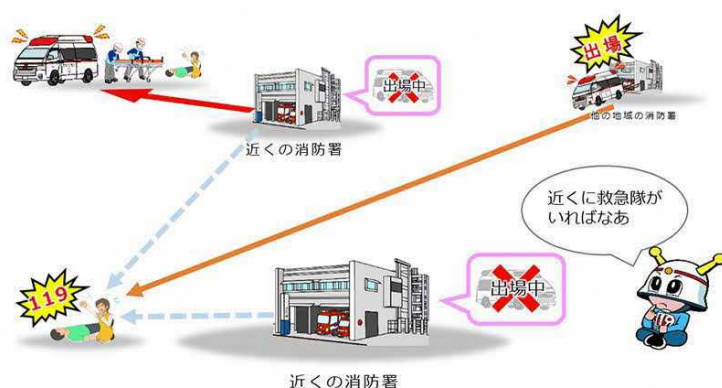
5 救急車の適時・適切な利用にご協力を

高齢化や夏の猛暑等により救急件数は年々増加しており、令和6年の救急出場件数は過去最多の935,373件にのぼり、救急車が現場に到着するまでに平均で約8分59秒かかっています。

救急車の要請が多く、近くの救急車が出動している場合、遠くにいる救急車が出場することになり、到着までに時間がかかる場合があります。

救急車は限りある資源になります。救急車を必要な人が、必要な時に、安心して利用できるよう、適時・適切な利用にご協力ください。

救急要請が増加し、非常用救急隊の編成が必要となる場合等、救急出場体制のひっ迫度合いをお伝えするとともに、救急車の適時・適切な利用を強く訴えかけること目的に、「救急車ひっ迫アラート」を発信しています。



【各種行事予定】(令和7年7月現在)

- | | | | |
|-------|------------|--------------------------|------|
| 本所消防署 | 9月1日(月)午前 | 墨田区防災フェア | 防災体験 |
| | | 墨田区役所、墨田区防災フェア展示会場での防災体験 | |
| 向島消防署 | 8月31日(日)午前 | 防災救急フェア | |
| | | 東武鉄道博物館前、防災フェア展示会場での防災体験 | |